

# 平成 27 年度第 2 回在宅介護教室を開催しました！

岩内町社協では平成 27 年 11 月 30 日、岩内町地域交流センターにて今年度 2 回目の在宅介護教室を開催いたしました！

当日は前回同様、三幸福祉カレッジ室蘭校の岡崎先生その他、同校の講師であります藪中先生もお招きし、約 2 時間にわたり「福祉用具の活用と実践」と題した介護実技教室を企画！

今回は第 1 回目の座学形式とは違って変わり岩内町社協が現在、岩内町地域交流センターに開設している福祉用具展示室の展示品を活用し、10 名の参加者には車いすや電動ベッドに直接触れ、力任せに行わない介護技術のポイントや、介護を受ける側の気持ちを十分考えたうえで介護することが大切であることを学んで頂きました。

## 本日の介護教室実技体験お題目！



1 ベッドに寝てみましょう



4 車いすをひとりでこいでみましょう



2 ベッドから起き上がりましょう



5 車いすを介助してみましょう



3 ベッドから車いすにうつりましょう



6 感想をお聞かせ下さい



①床ずれ防止用具マットを設置した電動ベッドに寝た感想は「フカフカして気持ちいい！」とのことでした。



②本日学んだ介護方法を参加者が早速実践。講師より「とても上手ですよ！」と評価を受けておりました。



③介護者も椅子に座って介護する方  
法実践中。これにより安定した介護と  
なり負担軽減にもなるとのことでした。



④スロープを使った車椅子移動を体  
験。坂道を下る時は後ろ向きが基本で  
あることを学ばれておりました。



⑤最後は参加者より一人ずつ本日  
の感想を頂きました。なお参加者の  
皆様には実技前に岡崎先生より説  
明のあった「福祉用具を活用するこ  
とで本人の自立した生活が拡大し、  
介護負担軽減につながる。しかしな  
がら福祉用具は適切な使用方法を  
理解し活用しないと便利な道具が  
危険な道具にもなりうる。」といっ  
たことを実感して頂けたことと思  
います。また安定した適切な介護は  
受ける側、行う側の両者にとって気  
持ちの良い介護になることや介護  
する際は受ける側のことを考えて  
行うことでより良い介護に繋がる  
ことを実感して頂いたことと思  
います。岡崎先生、藪中先生ありが  
とうございました！

## アンケート集計結果

★介護が少しわかった

★今後もこんな教室をお願いします。

★介護される方の気持ちになって、ちょっとしたコツで楽にお世話介護できることにビックリしました。

★車いすに乗って見て、いろいろな事がわかりました。意外と怖いものだという事に気が付きました。

★私も老々介護になる事と思いますので、もっともっと学びたいと思っています。

★とても解りやすいお話しと介護の動きでした。

★介護の知識がなく、力まかせでなく、介護される人の力も借りてスムーズに移動もできることを教えていただき、今後にも是非、母の介護の時等、実践してみたいと思います。

★分かりやすく介護する時の実際の動きが理解できました。

★とても良い体験をさせていただきました。「備えあれば憂いなし」どんなときにも対応できればと思っています。